



■建物概要

計画地：品川区東品川三丁目
30 番 15 号
用途地域：準工業地域
防火地域：防火・準防火地域
高度地区：第三種高度地区
主要用途：中学校
構 造：鉄骨造
規 模：地上 5 階建て
建物高さ：約 25.6m
敷地面積：約 7,400 ㎡
建築面積：約 2,770 ㎡
延床面積：約 9,840 ㎡

■建物概要比較表

		既存校舎	新校舎
延床面積		約 6,100 ㎡	約 9,840 ㎡
建物高さ		約 17.2m	約 25.6m
構造		鉄筋コンクリート造	鉄骨造
階数		地上 4 階建て	地上 5 階建て
普通教室		11 室	15 室（+多目的室 3 室）
特別 支援	学級	—	2 室
	教室	—	1 室
	プレイルーム	—	1 室
	校内別室	—	1 室
学習室		3 室	4 室（分割時最大 5 室）
多目的ホール		—	1 室
特別教室		11 室	9 室
体育館		約 558 ㎡	体育館 約 700 ㎡ 武道場 約 290 ㎡
プール	コース	4 コース	5 コース
	プールサイド	約 130 ㎡	約 265 ㎡
	特記事項	—	屋上設置、屋根・稼動床なし
グラウンド		約 2,700 ㎡	グラウンド 約 2,000 ㎡ サブグラウンド 約 870 ㎡

■コンセプト

1. 地域と共存する学びの場

- ・品川シーサイドの街並みに溶け込み、東海中の校訓である「誠実・規律」を感じられる色彩計画およびボリューム計画とします。
- ・校舎配置や屋根形状を工夫し、近隣への日影の影響を最小限に抑えます。
- ・校内に明確なセキュリティラインを計画することで、地域への開放性とプライバシーを両立した、安全・安心な学校とします。

2. 多様性とウェルビーイングな学び舎

- ・3階普通教室エリアの中心に多目的スペースを設けることで、廊下と一体的に利用できる多様性のある空間を計画します。
- ・校庭に隣接した大きなピロティを設け、天候に左右されずに利用可能な交流・活動空間を計画します。
- ・幹線道路側にボリュームの大きい体育館を配置し、防音壁として機能させることで、静穏で落ち着いた学習環境を確保します。

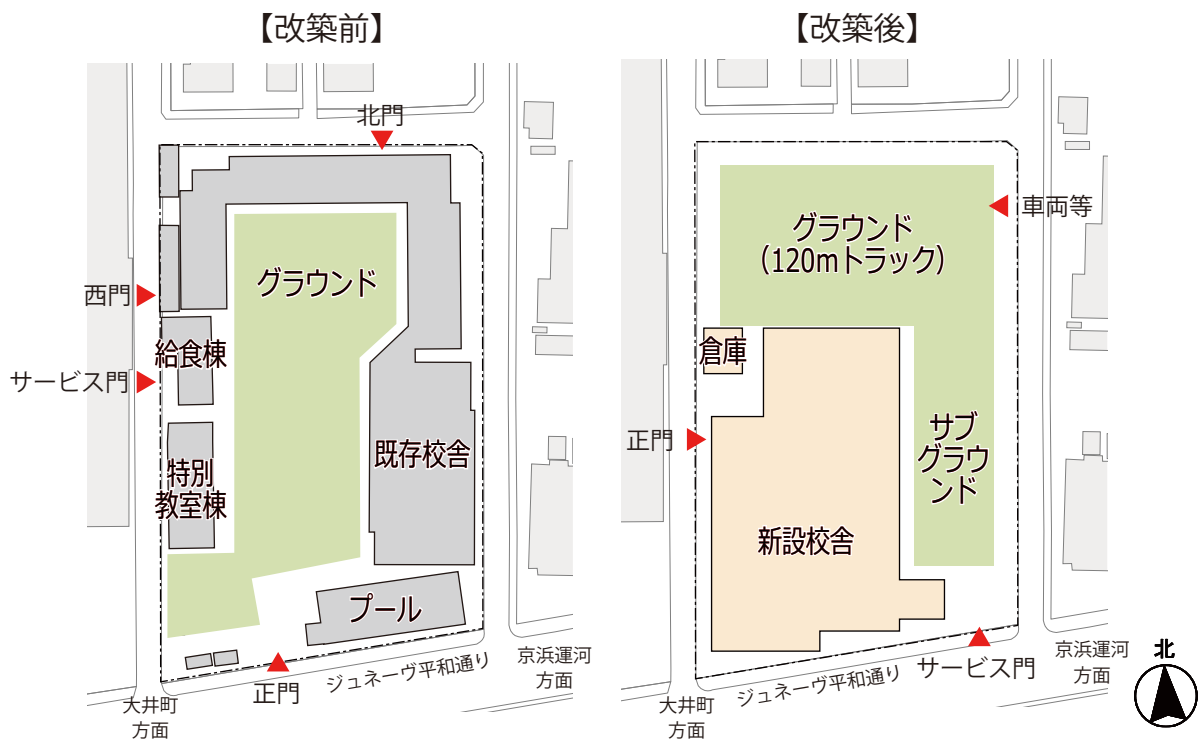
3. コンパクトな計画で工期短縮とコスト縮減

- ・仮設校舎を設けない計画とすることで、工期短縮や建設コスト縮減を実現します。
- ・普通教室と特別教室を集約配置し、明快な動線計画とすることで、無駄のないコンパクトな建物とします。
- ・構造種別を鉄骨造とし、効率的な施工計画とすることで、全体工期の短縮を図ります。

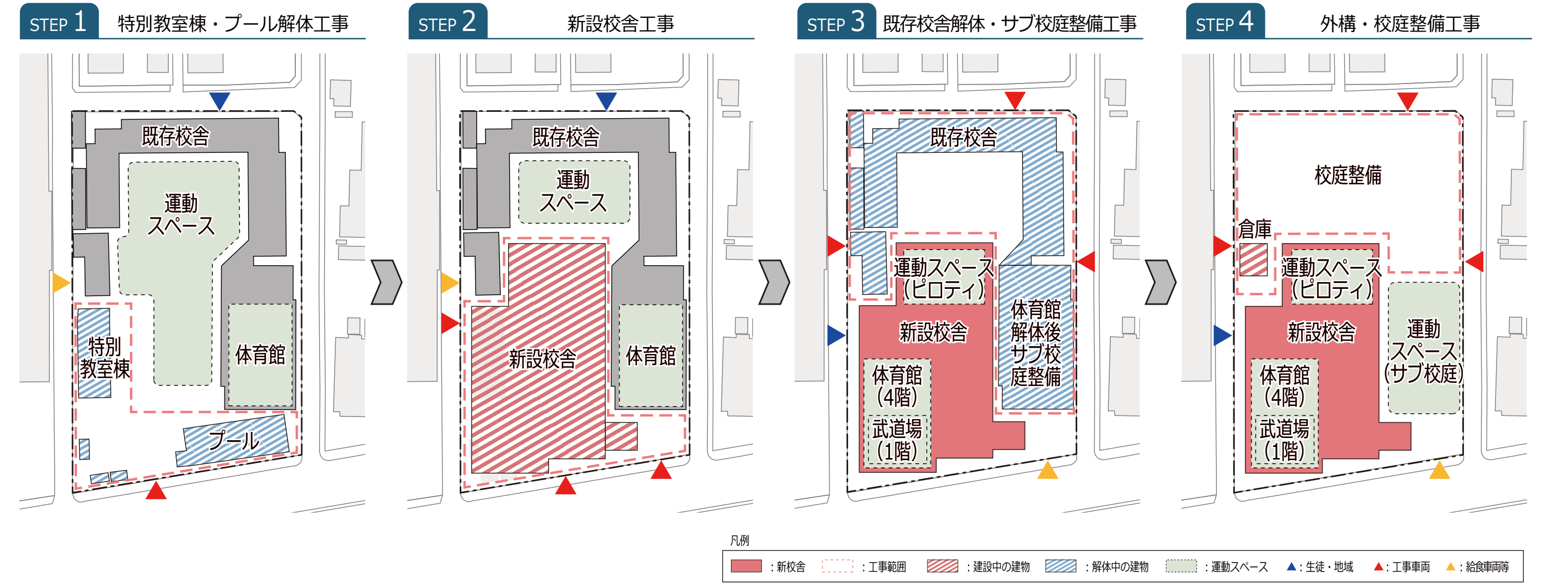
4. 環境にやさしく、災害に強い学校

- ・高断熱化、日射遮蔽、自然エネルギーの活用や高効率設備の採用により、環境負荷の低減を図ります。
- ・大地震や大雨等による災害時に、避難所として十分に機能を果たす構造・設備計画とします。
- ・災害後の段階的な学校再開を見据えた、柔軟性のあるセキュリティラインを計画します。

■建物配置比較図



■建替計画



■建替工程

